

# 都市山防災林整備

平成30年7月豪雨で六甲山系において、風化花崗岩地帯や松枯れ跡地の広葉樹林の急斜面で表層崩壊が多発したため、人命・下流人家等に甚大な被害を及ぼす危険性が高い流域の森林を対象に防災機能の強化を図ります。



立木が過密なため、林内が暗く下層植生が消失



大木の倒伏状況

このままでは、豪雨になると……



急峻な斜面での表層崩壊



未整備の溪流から土石が流出



流木の堆積状況

## 整備内容

広葉樹の本数調整伐、伐倒木を利用した土留工  
倒木の危険性の高い大木の伐採

第3期対策（平成28年度～令和3年度）に21か所234haにおいて整備を実施しました。  
第4期対策においても、引き続き整備を実施しています。

## 整備後のイメージ

